

# なかよし

児童中部小学校

いちょう学級だより

R4. 4. 28

No. 3

## 〇〇さんが自分らしく伸びるために

前回のいちょう学級だより「なかよし」には、「今は、子どもと担任とのつながりを大切にしたい時期」というお話を書かせていただきました。新年度が始まって、約1か月が経とうとしています。初めは緊張していた子どもたちも表情が和らいできました。担任との温かなつながりは、安心を与え、子どもが自ら伸びようとする土台であると信じています。

Aさんは、体が疲れやすいこともあり、体調を考えて休養をとることを大切にしながらくらしをつくっています。ある日、登校してきてしばらくいろんな話をしているうちに静かになり、「ちょっと疲れているので休みます。」と担任に話しました。「わかった。ではちょっと横になる？」と聞くと、「うん。」とうなずいて横になりました。すると、眠たいはずなのにすぐにまた起き上がって教室の外に歩き出しました。トイレにでも行くのかなと見守っていると、近くにあった譜面台をもってきて、「ここに、『体を休めています』と書いて、教室の入り口に置いておいてください。」と担任に頼み、また横になりました。前の担任の先生は、そうしていたというのです。Aさんは、これまでのことをよく知らない新しい担任に自分のことや、これまでしてきたことを伝え、お願いをすることで自分らしくくらしを自らつくろうとしています。

今年度のいちょう学級のめあては、「〇〇さんが自分らしく伸びる」です。家庭環境も経験も違う一人一人の子どもが、人やもの、こととかかわる中で考えたり悩んだり葛藤したりして懸命にくらしをつくっています。その固有名詞をもった一人一人の子どもの物語を見つめていこうという意味を、「〇〇さんが」という言葉に込めました。そして、子どもが自分のよさも苦手も肯定的に受け止めて自ら力を伸ばしてほしいという意味を「自分らしく伸びる」という言葉に込めました。それには、繰り返しになりますが担任とのつながりが土台です。担任は子どもを信じて待ち、温かなまなざしで子どもを見つめ、その上で子どもが「自分が動く」ことを見守り支えていきたいと考えています。そのために私たちは子どもが「自分が動く」ための授業づくりと、考え動くための言葉を引き出す支援を大切にしていきます。保護者の皆様と自分らしく伸びるお子さんの姿を共有できたら幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

